第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム

趣　意　書

会期：令和 6 年 6 月 21 日（金）・22 日（土）

会場：東京大学 駒場キャンパス 21KOMCEE

主催：東京大学生命科学ネットワーク
共催：東京大学
東京大学生命科学技術国際卓越大学院プログラム
高校生と大学生のための金曜特別講座

東京大学生命科学ネットワーク
第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長　　西増 弘志
副実行委員長　　岡崎 拓

実行委員会より挨拶

謹啓

時下、皆様にはおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

東京大学で毎年開催されます「東京大学生命科学シンポジウム」も次回で 23 回目となりました。このシンポジウムでは、東京大学教員による最先端の研究に関する講演とともに、本学の学生と若手研究者によるポスター発表と口頭発表が行われます。幸いなことに全学的行事として学内外に定着し、毎回 400～600 名の皆様にご参加いただいております。昨年度は 6 月16 日にオンライン、17 日に駒場キャンパス 21KOMCEE において東京大学などとの共催で開催し、5 名の教員による講演、276 演題のポスター発表、そして若手教員と学生による 8 演題の口頭発表が行われました。本シンポジウムは、研究者だけでなく一般の方や学部学生・大学院生にも多数参加していただき、東京大学で行われている多彩な生命科学研究を知っていただくとともに、研究者との交流の場を提供することを目指しております。今年度は 6 月21日にオンライン、22 日に駒場キャンパス 21KOMCEE で開催することに致しました。是非ともお越しいただけますと幸甚です。

さて、大変恐縮ですが、折り入って皆様にお願いがございます。本シンポジウムは、ネットワークメンバーが中心となり出版しております生命科学教科書シリーズの印税をシンポジウムの運営費に充てておりますが、印税収入のみでは限りがあるゆえに、多くの企業・団体様よりご協賛をいただき開催して参りました。今後とも自助努力は続ける所存ではございますが、大規模なシンポジウムとなりますゆえ、皆様にも是非、協賛金や広告（要旨集および Web サイト）を通じて本シンポジウムをご支援いただけますよう、お願い申し上げる次第でございます。今回より新たな試みとして、シンポジウム当日にポスター（180 x 90 cm 以内）を用い、貴社のご活動内容をご紹介いただける枠を設けました。詳細は添付の募集要項をご覧ください。

東京大学の生命科学分野の研究者が一同に会する機会は稀ですので、是非ともこの機会を利用し、産学の協力・連携の機会にしていただけましたら幸甚です。

ご多用の折、誠に恐縮でございますが、本シンポジウムの趣旨にご賛同いただき、ご高配を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

2024 年 1 月吉日

東京大学生命科学ネットワーク
第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長　　西増　弘志
副実行委員長　岡崎　拓

■ 会議名称　：第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム

■ 会　　期　：令和 6 年 6 月 21 日（金)、22 日（土）

■ 会　　場　：東京大学駒場キャンパスⅠ　21KOMCEE（講演会場：定員 247 人）

■ 参加者数　： 300～500 名

■ 実行委員長：西増 弘志（東京大学 先端科学技術研究センター・教授）

副実行委員長：岡崎 拓（東京大学 定量生命科学研究所・教授）

■ シンポジウム開催計画の概要：

〇各部局より選出された研究者達による公開シンポジウム

〇大学院生・若手研究者を中心としたポスター発表、ワークショップ

■ シンポジウム事務局：

第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク

TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852

E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

以下、募集要項、申込み用紙、昨年のシンポジウムの様子等の参考資料を添付致します。

- 第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウムプログラム（予定）
- 収支予算案
- 広告（ポスター・Web サイト・要旨集）および寄附金 (協賛金) 募集要項
- 広告申込書（書式１）
- 寄附金申込書（書式２）
- 第 22 回シンポジウムの報告

第 23 回　東京大学生命科学シンポジウムプログラム（予定）

6 月 21 日（金）
＜講演 1＞　17:30～20:00
医学部 微生物学教室 竹田誠 先生
於　オンライン

6 月 22 日（土）
＜若手ワークショップ＞　8 演題　9:05～11:15
於　21KOMCEE East K011

＜ポスターセッション＞
ポスターセッション１（奇数）　11:30～12:45
ポスターセッション２（偶数）　13:45～15:00
於　21KOMCEE East B1F、2F（K211、K212、K213）

＜講演 2＞　4 演題　15:15～17:15
於　21KOMCEE East K011
大気海洋研究所 海洋生命科学部門 行動生態計測分野 佐藤 克文 先生
情報理工学系研究科 システム情報学専攻　川嶋 健嗣 先生
医科学研究所附属ヒトゲノム解析センター 武藤 香織 先生
理学系研究科 大杉 美穂 先生

＜懇談会＞　17:30～19:30
於　21KOMCEE West MMホール

収支予算案

収入の部

項目	備考	金額
版権収入（見込み）		¥2,000,000
広告収入	バナー　1 ブロック 5 万円×4	¥200,000
	ポスター　1 枚 5 万 x 14	¥700,000
	要旨集　(2 社、A4 全面　5 万×4)	¥200,000
	要旨集　(4 社、A4 半面　2.5 万×4)	¥100,000
寄付金(協賛金)	一口　2.5 万円　×　12 社	¥300,000
合計		¥3,500,000

支出の部

項目	備考	金額
会場使用料	21KOMCEE	¥200,000
会場設営費	ポスターパネル、立て看板、設営費	¥1,800,000
要旨集作成	60 ページ	¥300,000
ポスター作成	A2, 100 枚	¥60,000
Web サイト作成	HP	¥200,000
サーバー管理	要旨受付、サーバーメンテ等	¥400,000
懇談会費	21KOMCEE West MM ホール	¥200,000
スタッフ謝金		¥160,000
文房具・雑費など		¥110,000
合計		¥3,430,000

ポスター掲載　募集要項（ポスター発表）

■　講演会名称：第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム
ポスター会場におけるポスターの掲示・発表
ポスター会場にいる人が閲覧します。
参加者に直接ご説明いただけます。

■　掲示料　　：1 枚　　￥50,000 （180 x 90 cm 以内）
2 枚　　￥100,000

■　サイズ　　：1 枚あたり　180 x 90 cm 以内

■　申込方法　：
別紙、広告申込書（書式 1）にご記入の上、下記、事務局宛にメールにてお申し込み下さい。

■　申込期日　：締切日・・・令和 6 年 5 月 10 日（金）

■　広告申込（問い合わせ先）：
第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局
〒153-8902　東京都目黒区駒場 3 丁目 8－1　１７号館 1 階
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク
大坪 瑶子
TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852
E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

■　お振り込み先：
広告申込書を受領し、第 23 回生命科学シンポジウム開催後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。

■　ポスター会場ポスター広告　広告制作上の注意

ポスター会場にてポスター広告を掲示していただきます。

■ポスター作成とサイズ

　ご自身で 180 x 90 cm 以内のポスターをご用意いただき、会場に用意されたボードにご掲示いただきます。押しピンなどは会場にご用意いたします。シンポジウム終了後はご自身で撤去願います。

広告掲載　募集要項（Web サイト）

■　Web ページ　：第 23 回　東京大学　生命科学シンポジウム

http://www.todaibio.info

ホームページを閲覧した全ての研究者、一般の方に見られます。

■　広告料　：　1 ブロック分　¥50,000

2 ブロック分　¥100,000

■　サイズ　：1 ブロック　218×60 ピクセル

2 ブロック　446×60 ピクセル

■　申込方法　：

別紙、広告申込書（書式 1）にご記入の上、下記、事務局宛にメールにてお申し込み下さい。

■　申込期日　：締切日・・・令和 6 年 6 月 5 日（水）

■　データ送付：締切日・・・令和 6 年 6 月 5 日（水）

（詳細は次ページ、広告制作上の注意をご覧ください。）

なお、ページ割については実行委員長にご一任頂きますようお願い申し上げます。

■　広告申込・版下送付先（問い合わせ先）：

第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局

〒153-8902　東京都目黒区駒場 3 丁目 8－1　１７号館 1 階

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク

大坪 瑶子

TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852

E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

■　お振り込み先：

広告申込書を受領し、第 23 回生命科学シンポジウム開催後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。

■　ウェブサイト　広告制作上の注意

http://www.todaibio.info

公式ウェブサイトへのバナー掲載

・http://www.todaibio.info　の
　トップページに御社のバナーを掲載。
・ご希望のページとリンクを張ります。
・掲載スペースは２通りあります。

２　ブ　ロ　ッ　ク　の　場　合

例

ロゴ　　社名　　コピー

◆ご用意いただくもの

●ロゴデータ（カラー：ＲＢＧ）
●社名日本語表記
●社名英語表記
●コピー（19 文字×３行＝57 文字）
●リンク先のアドレス

１　ブ　ロ　ッ　ク　の　場　合

例

ロゴ　　社名＋コピー

◆ご用意いただくもの

●ロゴデータ（カラー：ＲＢＧ）
●社名日本語表記
●コピー（11 文字×２行＝22 文字）
●リンク先のアドレス

広告掲載　募集要項（要旨集）

■　誌　　名　：第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム
講演要旨集（シンポジウムホームページから閲覧可能）

■　配布形式：電子版

■　広告料　　：A4　1 ページ（単色）　　￥50,000
A4　半分　　（単色）　　￥ 25,000

■　サイズ　　：1 ページ　版面　天地 267mm　左右　180mm
半分　　版面　天地 130mm　左右　180mm

■　申込方法　：
別紙、広告申込書（書式 1）にご記入の上、下記、事務局宛にメールにてお申し込み下さい。

■　申込期日　：締切日・・・令和 6 年 6 月 5 日（水）

■　データ送付：締切日・・・令和 6 年 6 月 5 日（水）
（詳細は次ページ、要旨集　広告制作上の注意をご覧ください。）

■　広告申込・データ送付先（問い合わせ先）：
第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局
〒153-8902　東京都目黒区駒場 3 丁目 8－1　１７号館 1 階
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク
大坪 瑶子
TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852
E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

■　お振り込み先：
広告申込書を受領し、第 23 回生命科学シンポジウム開催後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。

■　要旨集　広告制作上の注意

要旨集への広告掲載

・広告は１Ｐと１/２Ｐの２種あります。

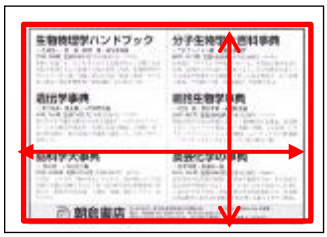
１　Ｐ　の　場　合

版面：天地 267 ミリ
　　左右 180 ミリ

◆ご用意いただくもの

●印刷データ (5M 程度)
●版面：267 ミリ×180 ミリ
●モノクロで制作してください。
●データはイラストレータ
　（文字アウトライン済み）、
　もしくは PDF でお願いします。
●それ以外の場合はご相談下さい。

1/2　Ｐ　の　場　合



版面：天地 130 ミリ
　　左右 180 ミリ

◆ご用意いただくもの

●印刷データ (5M 程度)
●版面：130 ミリ×180 ミリ
●モノクロで制作してください。
●データはイラストレータ
　（文字アウトライン済み）、
　もしくは PDF でお願いします。
●それ以外の場合はご相談下さい。

寄附金(協賛金)　募集要項

■　寄附金(協賛金)使途：　第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウムの開催及び、
生命科学ネットワークの運営に充当する。

■　寄附金(協賛金)額　：　一口 2.5 万円 (一口以上より)

■　募集期間：　～令和 6 年 6 月 5 日（水）
この期間にご寄附いただいた場合は、第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウムにおいて、貴社名が要旨集、講演中のスライドに掲載されます。

※ なお、この期間に関係なく、当ネットワークでは、寄附金の募集を随時行っております。

■　申込方法　：
別紙、寄附金申込書（書式 2）にご記入の上、下記、事務局宛にメールにてお申し込み下さい。

■　法人からのご寄附の場合　：
法人が行った寄附のうち、指定寄附金（※）については、その金額を損金算入することができます。
※国立大学法人の業務に対する寄附金など、財務大臣が指定した寄附金

■　お振り込み先：
寄附金申込書受領後、当方から振込依頼書をお送り致します。案内に従ってお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を郵送いたします。

■　寄附金(協賛金)申込・問い合わせ先：

第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局
〒153-8902　東京都目黒区駒場３丁目８－１　１７号館１階
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク
大坪 瑶子
TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852
E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

書式 1

年　　月　　日

事務局　宛

第 23 回　東京大学　生命科学シンポジウム

広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ、メールにてご返送下さい。

□「第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム　ポスター会場ポスター広告」への広告を下記の通り申し込みます。

・ポスター枚数（該当箇所に印を付けて下さい）

□ 1 枚　　¥50,000

□ 2 枚　　¥100,000

□「第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム　Web サイト」への広告を下記の通り申し込みます。

・スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

□ 1 ブロック分　¥50,000

□ 2 ブロック分　¥100,000

□「第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム　講演要旨集 (電子版)」への広告を下記の通り申し込みます。

・スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

□ A4　1 ページ（モノクロ）　¥ 50,000

□ A4　半分（モノクロ）　¥ 25,000

貴　社　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご　所　属：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

御担当者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事務局：第 23 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局
〒153-8902　東京都目黒区駒場 3 丁目 8－1　１７号館 1 階
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク
大坪 瑶子
TEL: 03-5465-8974; 070-3365-0852
E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

書式 2

東京大学寄附申込書

令和　　年　　月　　日

東京大学総長　　殿

寄附者

住　　所　〒

氏　　名　　印

貴大学に対し、下記のとおり寄附します。

記

1. **寄　附　先**

生命科学ネットワーク・生命科学ネットワーク長

2. **寄 附 金 額**　　金　　円也

※　寄附金額の１０％を研究支援経費として大学の運営のために使用することを了解いたします。
※　寄附金から生じた運用益を東京大学基金に組み入れることを了解いたします。

3. **寄附目的及び条件**

生命科学ネットワークの諸活動における助成のため

4. **情報公開制度による開示請求があった場合の寄附者名・金額の取扱い**　　寄附者名・金額　：　□公開　／　□非公開

5. そ　の　他

記　入　例

東京大学寄附申込書

申込日をご記入ください。

年　　月　　日

東京大学総長　　殿

・　住所・氏名をご記入ください。
・　氏名の横には捺印をお願いします。
・　企業等の場合には社名に加え、役職名、代表者名をご記入ください。

寄附者

住　　所　〒100-0000

東京都○○○○○○○○○○○○○

氏　　名　東大　太郎　　印

貴大学に対し、下記のとおり寄附します。

記

1. **寄　附　先**

生命科学ネットワーク・生命科学ネットワーク長

寄附金額をご記入ください。

2. **寄 附 金 額**　　金　　○○○，○○○　円也

※　寄附金額の１０％を研究支援経費として大学の運営のために使用することを了解いたします。

※　寄附金から生じた運用益を東京大学基金に組み入れることを了解いたします。

受入れる寄附金の 10%を研究支援経費（管理的経費）として使用させていただきます。

3. **寄附目的及び条件**

生命科学ネットワークの諸活動における助成のため

4. **情報公開制度による開示請求があった場合の寄附者名・金額の取扱い**

寄附者名・金額　：　☑公開　／　□非公開

本学では、情報公開制度により法人文書の情報公開を行っておりますが、寄附に関する情報の開示請求があった場合に、寄附者名及び寄附金額の公開を承諾するか否かについて、チェックしてください。

5. **そ　の　他**

・　分納の場合には、その時期及び金額をご記入ください。
（例）
令和○年　4 月　金 800,000 円
令和○年 12 月　金 700,000 円
・　振込依頼書の送付先住所が寄附者の方と異なる場合にはご記入ください。
・　その他必要な事項があれば、ご記入ください。

＊寄付金に関してご不明な点等ございましたら、研究支援チームまでお問い合わせください。

〒153－8902
東京都目黒区駒場3－8－1
東京大学教養学部等経理課研究支援チーム
TEL　03－5454－4419
FAX　03－5454－4315
e-mail　ken9.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

第 22 回東京大学生命科学シンポジウム開催報告

令和 5 年 6 月 16 日（金）、17 日（土）に、駒場キャンパス I 21KOMCEE において、第 22 回東京大学生命科学シンポジウムが開催されました。梅雨の最中にも関わらず天候に恵まれ、快晴の中開催することができました。

今回のシンポジウムでも、第 20 回、第 21 回に引き続き、オンライン講義配信において先進的な取り組みをしている「高校生と大学生のための金曜講座」とコラボレーションを行いました。具体的には、6 月 16 日（金）の 17 時半より、近年注目されている核酸医薬（RNA 干渉を応用したオンパットロや mRNA ワクチン）の開発にも取り組んでおられる塩見美喜子教授（理学系研究科）のご講演を企画しました。塩見先生はこれまでのキャリアや、女性研究者の人生設計で直面する問題、結婚・妊娠・出産についてご自身の経験を話され、こうした問題にいかにして向き合い、乗り越えてきたのかをお話ししてくださいました。研究を志す女子高校生・大学生にとって非常に参考になるものであったと思います。その後、講演者の主な研究対象である PIWI-interacting RNA（piRNA）について、ほかの低分子 RNA である small interfering RNA（siRNA）や microRNA（miRNA）との関連性も交えつつ、動物の生殖細胞におけるトランスポゾン抑制系の中核をなすこの低分子 RNA が次世代への正確な遺伝情報の伝達を助け、不妊や胎児発育不全などの予防に寄与している可能性を示されました。高校生、大学生、中には小学生からの質問なども途切れることなく寄せられ、非常に盛況のうちに幕を閉じました。

6 月 17 日（土）のシンポジウム本編では、各分野のパイオニアとして知られている 4 名の先生による最先端の研究成果のご講演、276 題のポスター発表、8 名の若手研究者による口頭発表、そして懇談会が行われました。本シンポジウムは、東京大学の学生を含む研究者層のみでなく一般参加者に対しても東京大学で行われている研究の成果や内容を発信することで、一般社会により生命科学への関心を持っていただけるよう啓発活動に努めています。実際に 4 名の先生方や若手の発表に対して、「講演内容がわかりやすく、興味深かった。」「全く知らない世界の話でしたが、お話を聞いて興味が広がりました。」「若手の発表が非常に面白かった。今後の益々の進展に期待しています。」といった声をアンケートで頂きました。会場では新型コロナウイルス感染対策には万全を期すため、手指の消毒、マスクの着用は徹底していただきました。学内外の学生・研究者・一般の方をあわせておよそ 400 名の参加があり、立ち見が出るほど盛況なものとなりました。また、11 の企業・団体から協賛をいただきました。

＜講演＞

大谷先生

植物細胞の分化全能性のメカニズムについて議論した。動物細胞とは異なり、植物細胞では体細胞分化後もさまざまな種類へのいずれにも分化可能であり、これを分化全能性とよぶ。器官再生には、脱分化、再分化などの過程があるが、それらは通常の発生プログラムが部分的に活性化され進行することで実現することがわかってきている。講演者は RNA の代謝制御に着目し、転写後の mRNA に対するスプライシングや分解などの制御により分化が制御されていることを示した。聴衆からは実験結果の解釈や考え方に関する質問があり、活発に議論が交わされた。

林先生

日常生活を支えるヒト身体運動の難しさとそれに対する適応戦略について議論した。災害救助ロボットの転倒や特殊なハンドルを有した自転車の運転などの動画を例に、日常的なヒトの身体運動がいかに無意識的に巧みな制御を受けているかについて説明した。身体運動は、求められる目標状態に対してそれに達するための制御パターンは無数に存在する。一方で、身体運動は誰でも似ているため、何らかの規範が存在すると予想されている。講演者は腕到達運動課題をモデルとして、経験により運動学習量が変化することを、行動科学・数理モデリング・神経科学の融合的アプローチによって明らかにした。質疑応答では、将来展開を中心に、活発に議論が交わされた。

川島先生

エピゲノムを標的とした触媒医療を目指した研究について紹介した。ヒストンの翻訳後修飾の異常はさまざまな疾患に関わることが知られている。そのため、ヒストンの翻訳後修飾を人工的・化学的に導入できれば、疾患の原因解明や治療への応用が期待できる。講演者は、標的タンパク質、標的残基への選択性、生体内での安定性などの観点から、段階的に高性能化した化学触媒を開発し、特定のがん細胞の増殖阻害を達成するまでに至った。医療応用に向けた今後の課題を中心に、活発な質疑応答が交わされた。

林先生
睡眠の役割に関する研究の最前線を紹介した。哺乳類の睡眠は、レム睡眠とノンレム睡眠という異なる2つの睡眠に進化し、夢という独特な意識状態も生成するが、その意義やメカニズムは十分に分かっていない。講演者は、レム睡眠制御を担う神経細胞を同定し、レム睡眠を任意のタイミングで操作できるマウスを開発した。この解析によりレム睡眠が記憶学習や様々な行動に影響を与えることが分かった。また、レム睡眠中は他の状態と比べて2倍も血流が上昇することがわかり、栄養補給や老廃物除去がレム睡眠中に集中的に起こる可能性が示唆された。質疑応答では、これらの現象のメカニズムを中心に議論が交わされた。

＜若手ワークショップ＞
王 子儀：A novel bio-orthogonal, engineered fluorescence probe-reporter enzyme pair enables high sensitivity and low-background cancer imaging
大角 健：Understanding transcription-coupled repair in chromatin through structures of transcribing RNA polymerase II on the nucleosome
畠澤 卓：Structural study for native chromatin units from human cells
橋本 講司：Expanding the Genetic Code: Characterization and Application of Unnatural Codons in Semisynthetic Organisms
松坂 恭成：Automatic Classification System of Adeno-Associated Virus Vector Particles
竹田 穣：繊毛病関連タンパク質 HYLS1 による中心小体微小管の高次構造化～10 億年に渡り保存される細胞内構造体の形成機構に迫る～
岩瀬 晃康：Single-cell multi-omics and spatial transcriptome analyses of fate determination mechanisms during cardiac development
冨士田 壮佑：異なる幹細胞集団の存在がエダアシクラゲ触手の機能的な再生を促進する

ポスター発表では、大学院生、博士研究員を中心に 276 演題とこれまでで最も多くの演題が発表されました。昨年はコロナ禍により残念ながら対面での発表は叶いませんでしたが、今年は対面での発表、ディスカッションが可能となったことから、至る所で活発なディスカッションが行われているのが散見されました。アンケートにも「とてもいい経験になりました」「様々な研究分野を見ることができて興味深かったです」「異分野の方との交流ができました」との意見が寄せられ、このシンポジウムをきっかけに同じ分野・部局だけでなく異なる分野・部局の研究者・学生間の交流の芽が生まれたものと感じました。ただ、会場の一部、特に KOMCEE West 地下 1 階の MM ホールにつきましては、「場所が分かりにくかった」「空調があまり効いておらず暑かった」などのご意見をいただいており、こちらでの発表を行っていた方々に対しましては、事務局よりこの場をお借りしてお詫び申しあげます。

100 名を超える方々が出席してくださった懇談会では、現在の社会情勢を反映した波乱万丈な旅路を経て駆けつけてくださった白髭ネットワーク長のお話に、みなさん驚かれておりました。ポスター賞授賞式も行われ、276 のポスター演題から 44 名の方がポスター賞に選ばれました。ポスターは参加した 16 部局中 9 部局（医学系研究科・農学生命科学研究科・薬学系研究科・理学系研究科・総合文化研究科・工学系研究科・定量生命科学研究所・医科学研究所・先端科学技術研究センター）の発表者から選ばれ、それぞれの研究科が切磋琢磨して東京大学全体の研究レベルをより高いものにしているということを伺い知ることができました。来年度も引き続き第 23 回東京大学生命科学シンポジウムを開

催する予定ですのでみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

＜ポスター賞受賞者（44 名）＞

受賞者	所属
川崎 洸司	定量生命科学研究所
岩本 侑一郎	先端科学技術研究センター
増田 和俊	教養学部　統合自然科学科
近藤 勇人	医学系研究科
中西 優	工学系研究科
方 凌艶	薬学系研究科
村田 裕介	総合文化研究科
石川 潤一郎	先端科学技術研究センター
梅村 悠介	定量生命科学研究所
佐々木 諒平	医学系研究科
山下 港	工学系研究科
末吉 国誉	医学系研究科
須藤 成俊	定量生命科学研究所
遠藤 雅瑛	医学系研究科
鹿島 哲彦	薬学系研究科
宋 家禎	薬学系研究科
水口 高翔	先端科学技術研究センター
成田 桃子	医科学研究所
大川 典哉	医学系研究科
来田 真友子	医学系研究科
長井 広樹	薬学系研究科
竹中 哲	薬学系研究科
三輪 華子	理学系研究科
外山 侑穂	理学系研究科
吉田 豊	薬学系研究科
大須賀 佑里	総合文化研究科
村井 太一	定量生命科学研究所
吉留 大輔	農学生命科学研究科
栗栖 悠斗	薬学系研究科
湯淺 隼	薬学系研究科
阿比留 龍喜	定量生命科学研究所
Chung Myung	定量生命科学研究所
中村 真基	薬学系研究科
水野 博之	薬学系研究科
陳 泊喬	薬学系研究科
植田 賢	総合文化研究科
林 桜子	医学系研究科
浪川 勇人	農学生命科学研究科
志茂 将太朗	薬学系研究科
千葉 元太	総合文化研究科
種本 史明	医学系研究科
梶谷 碧	理学系研究科
鎌田 周一	理学系研究科
岡村 悠	理学系研究科

最後に、協賛いただいた企業・団体の方々、ご講演いただいた講演者の先生方、座長の先生方、ポスター審査員の先生方、シンポジウムの開催にご協力いただいたスタッフ、学生スタッフのみなさまに深く感謝いたします。

＜広告・協賛（五十音順）＞
カールツァイス株式会社
全薬工業 株式会社
ソマール 株式会社
東京大学薬学系研究科附属創薬機構
株式会社 トミー精工
ナカライテスク株式会社
日本ジェネティクス株式会社
ベックマン・コールター株式会社
マルハニチロ 株式会社
理科研 株式会社
株式会社 羊土社